

愛知工業大学 愛知工業大学名電高等学校 愛知工業大学名電中学校 愛知工業大学情報電子専門学校

令和3年秋季版

(令和3年11月16日)

名電野球部、13回目の夏の甲子園!

高校野球部が、第103回全国高校野球選手権大会(日本高校野球連盟、朝日新聞社主催)の愛知大会で優勝し、3年ぶり13回目となる夏の甲子園出場を果たしました。今夏の高校野球部の活躍を、写真とともに振り返ります。





甲子園を目指す地方大会の参加チームが、全国最多の179チームに及ぶ愛知県。その頂点を決める決勝は、享栄高校を相手に岡崎市民球場で開催されました。試合は初回に2点を先制されますが、5回に一挙6点を挙げて逆転。最終的には8対5で勝利して夏の甲子園出場を決めました。

準々決勝で東邦高校、準決勝で中京大中京高校に勝利しており、「愛知の私学4強」のライバル校との直接対決を全て制しての愛知大会優勝となりました。

壮行会 (8/2)、表敬訪問 (8/3)





高校で開催された壮行会では、田村俊介主将らが校内放送で感謝の気持ちを述べ、その後選手たちが優勝旗を掲げて校内を回りました。翌日には選手・監督・校長が愛知県知事と名古屋市長を訪問し、優勝報告。激励を受けました。

昨年はコロナ禍の影響で中止となり、2年ぶりの開催となった夏の甲子園。感染状況を考慮して無観客開催となりましたが、在学生、保護者、吹奏楽部、チアリーダーなど、学校関係者の入場は人数制限の上で認められました(※)。

1回戦の相手は、宮城代表の東北 学院高校でした。3回に3点を先制 され、5回にも2点を追加される厳 しい展開に。終盤に追い上げました

が及ばず、3対5で敗れました。しかしこの歴史ある大きな舞台での経験は、全ての選手にとって未来への大きな力となったはずです。

※その後、兵庫県の緊急事態宣言を受け、吹奏楽部、 チアリーダーの入場は不可となりました。







VOICE

倉野光生監督



コロナ禍で練習試合がほとんど中止となり、己との戦いが続く日々の中で、選手たちは強い思いを持ち続け、甲子園出場を成し遂げることができました。素晴らしいがんばりでした。多くの人たちの思いや尽力があって高校野球が成り立っていることを忘れず、これからも周囲に感謝でき、人々の思いを感じて応えることができる人間として成長していってほしいと思います。

田村俊介主将(3年)



愛知大会決勝は厳しい試合でしたが、吹奏楽部やチアリーディング部をはじめ、先生・生徒の皆さんの応援が力となり、甲子園出場をつかむことができました。本当にありがとうございました。甲子園という舞台は、野球を始めたころからの憧れでした。今後どんな道に進むとしても、この大舞台でプレーした経験を自信として生かしていきたいと思います。

チアリーディング部 野球応援席 岡田彩さん (3年)

地方大会の応援時には、素晴らしいチーム力で勝ち進んでいく姿を見て、たくさんの勇気と感動をもらいました。そして甲子園で応援をさせてもらえた経験は、私たちにとって最高の思い出です。本当にありがとうございました。

吹奏楽部 ドラムメジャー 馬場涼成さん (3年)

数々の名試合・名演奏が生まれた甲子園での演奏を経験できたことに 感謝しています。野球部の皆さんの全力でプレーする姿に刺激を受け、 「自分たちもより良い演奏ができるようがんばろう」と部全体の士気が 高まりました。





大学・高校・中学卓球部がそろって全国制覇



2大会連続8回目の優勝を決めた本学男子卓球部

続8回目の優勝を決めました。

本学園の大学・高校・中学の卓球部が、今 夏の全国大会(インカレ、インターハイ、全 中)で前大会に引き続いて優勝を成し遂げま した。高校は5連覇、大学と中学は2連覇 となります。それぞれの決勝を振り返ります。

大学男子卓球部は2強対決を制し連覇

大学男子卓球部は2強対決を制して2連 覇 第90回全日本大学総合卓球選手権大会 団体の部 (インカレ) は7月1~4日、島 津アリーナ京都で開かれ、大学男子卓球部が 決勝での明治大との激闘を制して、2 大会連

前回に続き連覇を目指す愛工大は、木造勇人(4年)、髙見真己(4年)、田中佑汰(3年)、曽根翔(1年) ら盤石の布陣で臨みました。一方、大会 2 強と目される明治大も戸上隼輔選手(2018~2019年高校 王者)、宇田幸矢選手(2020年全日本王者)らを擁し、両校が互いに1マッチも落とさずに勝ち上がっ て決勝で激突しました。決勝1番は、曽根が戸上選手を相手に3-1で制しました。2番を木造が落とし、 マッチカウント 1 - 1 に。3 番ダブルスも木造・田中が 1 - 3 で敗れ、先に明治大に王手をかけられ ました。4番で田中が宇田選手をストレートで下し、勝敗はラストの一番に。最後は髙見が冷静に3一 1で試合を決め、マッチカウント3-2で連覇を成し遂げました。

一方、男子とともに連覇を目指した女子卓球部は、決勝トーナメント2回戦で本大会覇者となった 早稲田大に敗れ、ベスト 16 の結果を残しました。

高校卓球部はライバル校を打ち破り5大会連続19回目の優勝

第90回全国高等学校卓球選手権大会(インター ハイ) は 8 月 12 ~ 17 日に富山市総合体育館で 開かれ、高校卓球部が男子学校対抗決勝でライバ ル校の野田学園(山口県)に勝利し、5連覇を達し 成しました。

決勝1番は、両校のエースが対決。篠塚大登(3 年)が徳田幹太選手の猛攻を抑えて勝利しました。 2番も吉山僚一(2年)が勝利し、優勝に王手を かけます。そして3番ダブルスには、前日の男団体の高校3冠に 子ダブルスで優勝した篠塚と谷垣佑真(3年)の





ペアが登場します。しかし、この一番は野田学園が勝利。4番も濵田一輝(3年)が敗れ、優勝の行方 はラストの谷垣に託されました。谷垣はこの大一番で会心のプレーを見せ、ストレートで快勝。高校卓 球部がマッチカウント3-2で頂点に立ち、連覇を成し遂げました。



連覇を飾った中学卓球部(写真は、い ずれもニッタクニュース提供)

中学卓球部も接戦を制して2大会連続13回目の頂点に

第52回全国中学校卓球大会(全中)は8月23~26日、 栃木県総合運動公園メインアリーナで開催され、男子団体戦で 中学卓球部が野田学園(山口県)を破り、2大会連続13回目 の優勝を達成しました。

決勝1番は菅沼翔太(3年)、2番は吉山和希(2年)が、 ともにストレート勝ち。連覇に王手をかけますが、3番ダブル スから野田学園の反撃が始まります。渡邊康靖(3年)・日髙 宏紀(2年)ペアが敗れ、4番も坂井雄飛(3年)が落とし、マッ チカウントは2-2に。そしてラストを担うのは杉浦涼雅(2

年)。杉浦は第1ゲームを落としますが、そこから3ゲームを連取して勝利。中学卓球部がマッチカウ ント3-2の接戦を制して2大会連覇を成し遂げました。

全国中学生フェンシング選手権で4度目の優勝

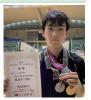


団体優勝の林川、和田、奥井、長谷川

第7回全国中学生フェンシング選手権大 会(7月22~24日・駒沢オリンピック公 園体育館)で、中学フェンシング部が2大会 連覇(前年大会は中止)による4度目の男子 団体優勝を飾りました。個人戦でも3選手が 優勝しました。



林川琉偉



長谷川力玖



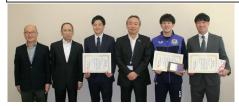
金髙生幸

全国小学生大会で活躍した選手たちが在籍する同部は、 今大会の全8種目中、4種目で優勝を果たしました。男子 個人種目で、林川琉偉(3年)がフルーレ優勝とエペ準優 勝。長谷川力玖(3年)がサーブル優勝、奥井咲之祐(2年)がサーブル3位となりました。

団体戦には和田真成(3年)を加えた4選手で優勝しました。女子個人種目では金髙生幸 (3年)がサーブル優勝、弓長皇美子(2年)がフルーレベスト8などの成績を収めました。

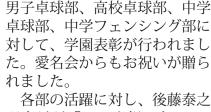
中学フェンシング部を学園表彰 中高大卓球部、

今夏の全国大会を制した大学



大学男子卓球部

高校卓球部



理事長が「コロナ禍にあって、 よく練習成果を発揮した」と激 励しました。これを受け、各部 の選手や指導者たちがお礼の言 葉を述べ、さらなる切磋琢磨を 誓いました。



中学卓球部



中学フェンシング部

日本卓球リーグ 2021 年度前期大会で大学卓球部が全勝優勝



全勝で日本リーグ優勝の大学男子卓球部 (写真はニッタクニュース提供)

日本卓球リーグ男子 1 部に唯一の学校チームとして加盟する大学 男子卓球部が、6月23~27日に千葉県浦安市総合体育館で開催さ れた 2021 年度前期大会で、実業団の強豪を向こうに回して全7戦 に勝利。12期ぶり2度目の優勝を成し遂げました。

最終日の第7戦、本学は5勝1敗で後を追う日鉄物流ブレイザー ズと直接対決。1番の田中佑汰(3年)と2番の曽根翔(1年)がと もにフルゲームの接戦に勝利すると、3番ダブルスの木造勇人(4年)・ 田中ペアも勝利を収め、2015年度前期以来となる日本リーグ優勝を 勝ち取りました。

個人表彰で、田中が最高殊勲選手賞に輝いたほか、優秀選手賞も曽 根、優秀ペア賞も木造・田中と、主要な賞を本学が独占しました。

木造と篠塚がアジア選手権に出場

卓球の第25回アジア選手権大会の代表選考会は6月19~20日に千葉県旭 市総合体育館で男子が行われ、大学の木造勇人(4年)が優勝したほか、高校の 篠塚大登(3年)も4強入りして、ともに代表権を獲得しました。決勝戦の木造 の相手は、明治大の戸上隼輔選手。2度のデュースを含むフルゲームの競り合い の末、木造が最終ゲームを11-8で取って勝利しました。

9月28日~10月5日にドーハで行われたアジア選手権本戦では、木造・篠 塚ともに、男子シングルスでは準々決勝で敗退し、ベスト8となりました。また、 両選手が出場した男子団体(国別対抗)は、3位の結果を残しました。



アジア選手権代表選考会 で優勝の木造勇人(写真 はニッタクニュース提供)

高校吹奏楽部 全日本吹奏楽コンクールに 43 回目の出場

高校吹奏楽部は、8月29日に津市の三重県文化会館で 行われた東海吹奏楽コンクールで金賞(朝日新聞社賞)に 輝きました。今回のコンクールは、コロナウイルス感染症 警戒レベルの上昇や緊急事態宣言が発出される見込みを受 け、事前に提出された音源での審査となりました。この結 果、2年ぶりに開かれる全日本吹奏楽コンクール(10月 24日・名古屋国際会議場)に東海支部代表として高校部 門全国最多となる 43 回目の出場を決めました。同部は中 部日本吹奏楽コンクールでも 1 位の文部科学大臣賞を受 賞しました。



聴衆を魅了したサマーコンサ

全日本の舞台では課題曲「トイズ・パレード」、自由曲「組 曲《惑星》より木星」を心を込めて演奏し、銅賞を受賞しました。

一方、同部のサマーコンサートは 2 会場 2 公演でのお披露目となり、7 月 11 日・日進公演(日進市 民会館)、19日・名古屋公演(名古屋国際会議場センチュリーホール)でそれぞれ開かれ、名古屋公演 では初のライブ動画配信も行いました。プログラムは4部構成。1年生部員による寸劇の演出なども交 え、顧問の伊藤宏樹教諭らの指揮の下、195人の部員が織りなす演奏が吹奏楽ファンを魅了しました。

関西学生フェンシング選手権で男子大学対抗戦エペ優勝、フルーレ準優勝



男子大学対抗戦エペ優勝

を決めました。

令和3年度関西学生フェンシング選手権大会(10 月13~17日・京都府大山崎町体育館)で、本学 フェンシング部が男子大学対抗戦エペ優勝、フルー レ準優勝の成績を収めました。さらにサーブルでも 4位となり、3種目ともに11月17~21日に東 京の駒沢オリンピック公園で開催されるインカレ (2021年度全日本学生フェンシング選手権大会) への出場を決めました。

男子個人戦でも活躍し、宮地恭平(4年)がフルー レ準優勝。フルーレは宮地を含む2選手、サーブル

3選手、エペも3選手が、それぞれインカレ出場 同時開催の関西学生フェンシング新人戦では、山代屋和史(1年)がエペ 優勝、前田航希(2 年)がフルーレ準優勝、伊東英汰(1 年)がサーブル準



宮地恭平



山代屋和史



男子大学対抗戦フルーレ準優勝

トピックス

優勝の成績を収めました。

高校卒業生の今井大湧選手が東京パラリンピック出場

名電高校卒業生で現在はダイハツ工業株式会社に所属するバドミントン 選手の今井大湧さんが、東京パラリンピックの男子シングルス(上肢障害)に出場しました。

先天性の右腕上肢欠損のある今井さんは、小学4年生のときにバドミントンを始め、中学時代は県大 会で8位入賞を果たすなど活躍。健常者の大会に出場していた今井さんに転機が訪れたのは、高校2年 生のときでした。東京パラリンピックでバドミントンが正式競技に決まったことをきっかけに、顧問の 日詰彰則先生の勧めもあり、障害者大会への出場を開始。初めて出場した日本選手権でいきなり優勝し、 その後も世界選手権銅メダルなど、世界の舞台で活躍するようになりました。

東京パラリンピックの開会式では、日本国旗を運ぶ6人のベアラーの一人に選ばれました。同大会の 成績は予選リーグ1勝2敗で準決勝進出を果たすことはできませんでしたが、強豪選手を相手に持ち味 のスマッシュを決めるなど、その懸命なプレーは見る人に勇気を与えてくれました。

田村選手に広島の4位指名

2021年プロ野球ドラフト会議が10月11日行われ、投打の活躍で注目を 浴びる高校の田村俊介が広島東洋カープの4位指名を受けました。



高校フェンシング部と中高卓球部を学園表彰

学園は6月22日、春の選抜大会などを制覇し全国の頂点に立った高校フェンシング部、高校卓球部、中学卓球部に対して、学園表彰を行いました。名古屋電気学園愛名会と高校同窓会からもお祝いが贈られました。



学園表彰を受けた高校フェンシング部、高校卓球部、中学卓球部

高校フェンシング部は、第45回全国高校選抜フェンシング大会(3月28~31日・丸善インテックアリーナ大阪)男子学校対抗フルーレの部で21年ぶり3度目となる優勝を飾ったほか、第28回JOCジュニア・オリンピック・カップ(1月7~10日・駒沢オリンピック公園体育館)男子17歳以下エペで弓長昇主選手が優勝しました。

高校卓球部は、第48回全国高校選抜卓球大会(3月25~28日・三重県サオリーナ)で、全試合をマッチカウント3-0で勝ち上がるという堂々の6連覇を成し遂げました。第22回全国中

学選抜卓球大会(3月27~28日・島根県立浜山体育館)に出場した中学卓球部も、前回大会で7連覇を目指しながら逃した王座を見事に奪還しました。

表彰式は高校の多目的ホールで行われ、後藤泰之理事長から、各部の指導者と選手に表彰状が手渡されました。後藤理事長は各部の活躍をたたえ、「これにおごることなく、しっかり練習して次の優勝を目指してください」と激励しました。

これにこたえ、部員を代表して高校フェンシング部の河村一摩主将、高校卓球部の篠塚大登主将、中 学卓球部の坂井雄飛主将が、「夏の大会も優勝目指して全力で戦います」と活躍を誓いました。指導者 の冨田弘樹高校フェンシング部監督、今枝一郎高校卓球部監督、真田浩二中学卓球部監督も、「チャレ ンジャー精神を忘れず日々精進します」と決意を述べました。

ソーラーカーレース鈴鹿で2度目の表彰台に

ソーラーカーレース鈴鹿に参戦する大学の学生チャレンジプロジェクトの団体「ソーラーカーの製作及びソーラーカーレース鈴鹿 2021 への挑戦」が、総合8位・ドリームクラス3位の成績を収め、2度目の表彰台に上がりました。

ソーラーカーレース鈴鹿は国際自動車連盟 (FIA) に認定された大会で、本学は2008年から参戦を開始しました。今年は7月31日と8月1日に鈴鹿サーキット国際レーシングコースで開催され、本学チームは自由度の高いドリームクラスに出場。



好成績を収めた本学チーム

コロナ禍で思うように活動できない状況の中、オンライン会議を積極的に活用するなど、創意工夫して乗り越えました。

チーム代表の長谷川壮良さん(電気学科3年)が当日の車検からチームスタッフをまとめ上げ、中津 隈友陽さん(電気学科4年)がドライバーとして乗車しました。初日のフリー走行では、車体の一部が 破損するなどのトラブルがあり、決勝では18位からのスタートになりました。2日目の決勝戦では、 劣化が心配された蓄電池の容量や、車体に搭載した太陽光発電の発電量を鈴鹿上空の気象予報を把握しながら、ピットに残ったメンバーがドライバーへの指示を飛ばしました。レース序盤は最下位を維持しながら、終盤に全体のペースが下がっていく中、蓄電池の余力と太陽光発電の発電量を計算し、どんどん順位を上げました。53週目にはドリームクラスのファステストラップ(1周の最速タイム)を記録し、最終的には総合8位・ドリームクラス3位の成績で表彰台に上がることができました。

当プロジェクトのチームが表彰台に上がるのは、2018年に総合4位・クラス3位を獲得して以来。 それにつぐ好成績となり、表彰台での受賞に学生たちは喜びを再度、爆発させていました。

全日本卓球選手権(カデットの部)14歳以下シングルスで吉山和希が優勝

JOC ジュニアオリンピックカップ 2021 年全日本卓球選手権大会カデットの部(10月29~31日・スカイホール豊田)14歳以下男子シングルスで、中学卓球部の吉山和希 (2年)が優勝し、初の全国個人タイトルを手にしました。吉山は決勝までに落としたのは1ゲームのみという安定感を発揮し、神戸市立兵庫中の谷本拓海選手と対戦した決勝でも、3-0の完封勝利を収めました。

大学 OB の松山祐季選手が全日本社会人卓球選手権大会ダブルス王者に

甲府市の緑が丘スポーツ公園で 10 月 29 ~ 31 日に開かれた第 55 回全日本社会人卓球選手権大会の男子ダブルスで、平野友樹選手と組んだ大学 OB の松山祐季選手(協和キリン)が、決勝で田添健汰選手・大島祐哉選手組(木下グループ)を 3-2 で下し、優勝を勝ち取りました。

レスキューロボットコンテストで最優秀賞

8月8日にオンラインライブ配信で開催された「レスキューロボットコンテスト 20 × 21 競技会本選」で、大学のレスキューロボット研究会を母体とするチーム「長湫ボーダーズ」が、最も優秀なチームに与えられるレスキュー工学大賞を受賞しました。

クラブ表彰

学園は全国大会に出場した設置校の各クラブに対してクラブ表彰を行いました。愛名会や高校同窓会、高校 PTA からもお祝いが贈られました。

【大学】

陸上競技部/秩父宮賜杯 全日本大学駅伝対校選 手権大会

【高校】

卓球部/令和3年度全国高等学校総合体育大会卓球競技

フェンシング部/令和3年度全国高等学校総合







体育大会 フェンシング競技

相撲部/令和3年度全国高等学校総合体育大会相撲競技

ウェイトリフティング部/令和3年度全国高等学校総合体育大会 ウェイトリフティング競技

ボウリング部/ JOC ジュニアオリンピックカップ 第 45 回全日本高校選手権大会

将棋部/第45回全国高等学校総合文化祭「将棋部門」

野球部/第103回全国高校野球選手権大会

水泳競技部/令和3年全国高等学校総合体育大会水泳競技

チアリーディング部/ Japan Cup 2021 チアリー ディング 日本選手権大会

ダンス部/第 14 回日本高校ダンス部選手権全国大

【中学】

ウェイトリフティング部/第 35 回全国男子中学生ウェイトリフティング競技選手権大会フェンシング部/第 7 回全国中学生フェンシング選手権大会

卓球部/第52回全国中学校卓球大会

陸上部/第48回全日本中学校陸上競技選手権大会

発行 学校法人名古屋雷気学園愛名会